

地域教育
情報紙 (30年度)
第2号

颯と流

平成30年7月12日発行
《担当》 富士・東部教育事務所
地域教育支援スタッフ
小林 智・上田 司・長田 茂

『颯と流』は、富士・東部地域教育の様々な活動、情報等を掲載し、

地域教育の「横の連携」と「縦の接続」

を目指す富士・東部教育事務所が発行する情報紙です。1年に6回程度の発行を予定しています。

富士・東部教育事務所地域教育支援スタッフでは、

- (1) 家庭、学校、地域の連携による地域ぐるみの教育活動の活性化を図る。
- (2) 地域における体験活動・ボランティア活動の環境を整備し、地域教育力の活性化を図る。

を目標に掲げ、地域の教育力を高めるためのコーディネーターとして、家庭・学校・地域社会がお互いに連携を深め、青少年の健全育成のため活動しております。

子どもたちの教育は地域全体で担う!!

南都留地域教育推進連絡協議会 理事会・総会・講演会開催

南都留地域教育推進連絡協議会では、平成30年度の理事会・総会・講演会を6月20日(水)「山梨県立富士ふれあいセンター」において開催しました。理事会後に開かれた総会・講演会には約130名が出席。総会では、事業報告・会計報告・監査報告の後、本年度の役員について、白井明彦東桂小学校校長を会長とする新役員が承認されました。

平成29年度事業報告の中では、11月2日に行われた教育フォーラム分科会の様子が話されました。幼・保・小・中・高・支援・大学・地域等さまざまな視点から子どもたちが抱える課題にスポットをあて、地域連携の中で解決の方法を探ることを目的としていることや、分科会ごとの提案を受けて、どのような成果・課題があったのかについて説明がありました。



講演会では、富士河口湖町在住のアウトドアエッセイスト、木村東吉氏を講師に『今、目の前にある幸せ』と題してご講演いただきました。参加者からは、「地域のよさは、その中にいると見えにくいもの。物でないつながりのすばらしさを、自然の豊かさや魅力を再確認することができた。」「「便利な生活と引き替えに失うものがある」という言葉を聞き、子どもたちの環境を取り巻いている問題を考えました。」「物質的な豊かさについて考え直す機会となりました。視点を変えてみると、それが地域を見直すことにつながるように感じた。」など多くの感想が聞かれました。

「まちづくりは人づくり、地域の子どもは地域で育てる」 地域教育「明日の風」

北都留地域教育推進連絡協議会 定期総会・教育講演会

北都留地域教育推進連絡協議会では、7月5日(木)に定期総会・教育講演会を大月市立図書館(映像ホール)で開催しました。総会に先立ち、歓迎アトラクションでは、「都留高校合唱部」による合唱が披露されました。都留高校合唱部は全国総合文化祭に山梨県高校生合同合唱団として出場しています。英語にアレンジした校歌、Jポップの曲、「ふるさと」など地域教育の総会にふさわしい曲を、清々しい歌声と見事なハーモニーで披露しました。一生懸命に歌う姿、礼儀正しい態度に賞賛の拍手がおくられました。



総会では、昨年度の事業報告をプレゼンにて行い、会計決算報告・会計監査報告に続き、役員選出では、会長を石井大月市長とし、江口上野原市長、舩木直美小菅村長、舩木良教丹波山村長を副会長とする役員が承認されました。平成30年度の事業計画案および会計予算案では、「まちづくりは人づくり、地域の子どもは地域で育てる」のスローガンのもと、北都留地域の各種団体・行政、地域住民との連携を図り「望ましい環境づくり」を推進する多くの事業についての貴重な意見をいただき可決しました。

教育講演会では、上野原市出身のYBS山梨放送のアナウンサー 水越千尋氏を講師にお招きして、「ニュースから見える地域の魅力～地域教育と私」と題してご講演いただきました。水越氏からは、アナウンサーを志したきっかけから、その夢を実現していく過程、また、現在の担当している番組づくりのようすを実際の報道映像を交えお話しいただきました。その中で、地域への想い、感謝、地域の活性化の願い等を素直な言葉で熱く語っていただきました。また、小学生の頃に参加した明日の風アスリート教室についての経験についてもお話しいただきました。



参加者からは「夢をもつことの大切さ」「改めて地域の教育力、地域の力の素晴らしさを感じた」「明日の風の取り組みが、人材を育てることに役立っていることを実感した」等様々な感想が寄せられました。

高校生インターンシップ推進事業

富士・東部地区 地域連絡会議

5月23日(水)、山梨県総合教育センターにおいて、平成30年度高校生インターンシップ推進事業地域連絡会議が行われました。全体会では、インターンシップの昨年度の状況や本年度の事業計画、高校新卒者の就職内定率・求人状況等の説明の後、山梨労働局の担当の方からは、「高校新卒者の内定率・求人状況は前年より増加し、未内定生徒に対する就職支援については関連機関と協力してきめ細かく行っている。」との説明がありました。

富士・東部地区の地域連絡会議では、最初にインターンシップにおいて期待したい5つの教育効果を確認後、インターンシップ担当者による各校の実践状況が発表されました。各学校の特色に応じた体験活動の状況やインターンシップの実施に向けた



学校での事前・事後指導の取り組み、新規受け入れ企業の開拓における課題や、看護体験・医師体験の実施状況など様々な意見交換がされました。ハローワーク富士吉田の渡邊亜矢子学卒ジョブサポーターからは、「昨年に引き続き、郡内の有効求人倍率は上昇しており、企業の採用意欲は高い状況。インターンシップは、高校生が働くことの意義を知る上で重要。ハローワークは事前学習におけるマナー指導等の協力をします。」とのアドバイスをいただきました。

富士吉田市地区小中高連携連絡会議

養護教員部会・教育課題部会

富士吉田地区小中高連携連絡会議は、小中高の連携において課題となっている「小1プロブレム」「中1ギャップ」や「中高の連携した生徒理解」等の様々な問題を打開するために平成20年に発足。今年で11年目を迎えます。また、平成22年より養護教員部会を立ち上げ、「不応の児童・生徒の現状と対応について」をテーマに小中高の連携を深めてきました。

4月26日(木)、下吉田コミュニティーセンターにおいて富士吉田市立教育研修所長、各小中高の校長、教育事務所地域教育支援スタッフが出席し、『富士吉田地区小中高連携連絡会議』が開催されました。連絡会議で



は、昨年度の活動報告と今年度の方向性についての検討、および小中高連携に関わる活発な意見交換が行われました。本年度については、『養護教員部会』を継続して開催し年間2回の情報交換を行い、さらに今年度から、市の行政担当者と小中高校長の代表者による『教育課題部会』を2回実施し、各学校長による全体会も2回開催することになりました。

6月12日(火)には、南都留教育会館で第1回養護教員部会が開催され、21名が参加しました。始めに、今年度は小中高の情報交換を中心として行っていくことが確認されました。その後、3つのグループに分かれ「保健室経営の現状について」をテーマに充実した討議が行われました。また、討議後には個別の情報交換が行われ、参加者からは「グループや個別になったことで、より効果的に情報交換ができました。」という感想が聞かれ、有意義な会議となりました。



地域での子育てや家庭教育支援の活動を積極的に推進できる人材の養成！！

子育て支援リーダー実力アップ講座

県では、山梨県立大学との協働により地域の子育てネットワークづくりのための子育て支援リーダー実力アップ講座を開講しています。同講座では、年間10回の講座を計画。支援者同士のネットワークづくりや情報交換などとともに、相談業務、特別支援教育など、県内外の著名な講師からも、多様な支援に対応した最新の理論やスキルを学ぶことができます。

第1回、第2回は、6月22日(金)と7月6日(金)に県立大学で開催され、子育て支援関係者、保育士、児童委員等約38名が参加しました。

第1回目は、開講式が開催され、引き続き、オリエンテーションが行われました。その後、県が策定した「やまなし子ども・子育てプラン(中間見直し)」についての説

明があり、「子育て支援の現状と私たちの課題」というテーマのもと、子育て支援をしていく上での課題を講座やグループワークを通して考え、解決方法を探究しました。今、抱えている課題についてそれぞれの立場からの意見交換が活発に行われ、グループごとに課題を絞り込み、代表による発表を行いました。

第2回目は、「家庭教育支援の技術をみがく」というテーマで講義とワークショップが行われました。「親子で楽しく身体表現遊び～心・ふれあう・動きでコミュニケーション～」では、実際に身体を動かし体感しながら、心身の発育発達を促す遊びの理論と技術を学習しました。参加者は童心に戻って自ら楽しむとともに、具体的な実践例を身につけることが出来たようでした。



楽しいが いちばん !!

明日の風 アスリート実技講習会



「明日の風」アスリートクラブ・北都留地域教育推進連絡協議会主催「明日の風アスリート実技講習会」がスタートしました。今年は、年間7回の講習会を予定しています。第1回は5月12日(土)に大月市営陸上競技場で開催されました。小学2年生から中学3年生までの63名が参加しました。ウォーミングアップ後、参加者はスタッフのアドバイスを熱心に聞きながら、短距離・長距離・幅跳び・高跳び・ハードル・ボール投げの中から2種目を選び各競技にチャレンジしました。また、最後に交流リレーも行われ他学年や他校のみなさんとの交流を深めました。

また、6月30日(土)には大月市民総合体育館において、『ホップ』(主催：大月アスリートクラブ・明日の風アスリートクラブ)が開催され、小学生から大人まで、合計170名が参加しました。種目は、今年度初めて行われたスラックラインやトランポリン・スポーツ吹き矢・ストラックアウト・陸上5種競技・スーパーエアロビクス教室と



多種多様で参加者は思い思いの種目にチャレンジしました。親子や友達同士で競い合い、自分の記録を確かめていました。さわやかな汗を流しながら充実した一日を過ごしました。

今後の開催は10月6日(土)、10月13日(土)、12月1日(土)です。多くの方のご参加をお待ちしています!!



やまびこ支援学校 スポーツフェスティバル



県立やまびこ支援学校(藤川健校長)の「第39回スポーツフェスティバル」が5月26日(土)に開催されました。小学部と中学部の児童・生徒あわせて43名と、保護者および学校関係者が参加して、同校の体育館とグラウンドにおいて実施されました。

はじめの会では、校長先生から「今日は、皆さんの応援をするために沢山の方が来て来ています。練習の成果が発揮できるように頑張りましょう。」と話があり、次に、生徒代表による宣誓が元気よく行われました。昨年度に引き続き、校内研究の授業づくりで考案された、子供たちの実態にあったオリジナルの「ピコレッチ体操」を行いました。

午前中は、小学部・中学部のエールの交換の後、各部それぞれの種目発表が行われ、小学部の「修行だ! どのくらい! にんにん!」では、相撲のつっぱりや押し倒しなど力強さ溢れる技をみせたり、忍び足やキャスターを使って忍者の動きを表現したり、児童それぞれの実態に応じた運動が披露されました。また、中学部の「飛躍~思いを繋げて~」では、全員でダンスを行った後、走り高跳び(正面跳び・はさみ跳び・ベリーロールなどの技を発表)や障害物リレーなどが披露されました。皆、元気よく最後まであきらめずに、一生懸命取り組んでいました。観客の方々も感動。大きな拍手が送られました。

午後の部では、交流種目として、「フォークダンス」、今年度初種目となる「ボール運びリレー!」を保護者とともに楽しみ、学年や地域を越えて互いに交流を深めることができました。



ふじざくら支援学校 オープンスクール

県立ふじざくら支援学校(若林正人校長)の「オープンスクール」が6月14日(木)に開催されました。

学校の概要説明では、平成8年の創立以来23年目を迎え、教育目標である「地域社会の中で豊かにたくましく生きていく力を育てる」ことの具現化をめざし、子ども一人ひとりに分かる授業を実践し、子どもたちが充実した時間を過ごすことによって、夢と自信をもち社会に巣立てるよう、職員一丸となって教育活動に取り組んでいること、さらに、地域の特別支援教育のセンター校として、地域の保・幼・小・中・高等学校の要請に応

じた支援を行っていることも話されました。

次に、各部の学習内容や「産業現場等における実習」などの説明があり、児童生徒会による学校紹介ビデオが上映されました。その後、「校内案内」や「授業見学」が行われました。また、特別支援教育に関する専門書やふじざくら支援学校で使用している教科用図書、教材、自助食器等の展示、各部の作品展示、高等部の修学旅行や校内実習・現場実習の様子も紹介されました。

ふじざくら支援学校では小・中・高の各部で連携を図り、多様な児童生徒の障害や発達に応じた教育課程を編成し、子どもたちに対応しています。また、同校地域支援部では、「教育相談」「授業体験」「訪問支援」「地域支援だより」の発行「専門書の貸し出し」「視覚障害児・聴覚障害児への支援」等の活動を行っています。特別支援教育に関する様々な相談について、お気軽にご連絡ください。

連絡先 電話：0555-72-5161(同校地域支援部) ホームページ www.fujizaky.kai.ed.jp



小・中・企業による地域連携活動！！

富士小学校・富士見台中学校・シチズン電子株式会社 合同あいさつ運動

6月4日(月)に富士小学校・富士見台中学校・シチズン電子株式会社は、合同による朝のあいさつ運動を実施しました。小・中学校とシチズン電子株式会社が隣接し、児童生徒の通学路と会社の通勤路が同じこともあり、普段からお互いに顔を合わす機会が多く、今年度から合同であいさつ運動を行うことになりました。

当日は、小・中学校の児童生徒、保護者、教職員、企業の方々が校舎の入り口や通学路に立ち、笑顔であいさつを交わっていました。「今日もお仕事頑張ってください。」と児童や生徒から大きな声であいさつがありました。

また、参加した児童生徒からは「暑い中大変だったけど、企業の方と一緒にあいさつすることで、地域との関わりができるのでいい経験になりました。」「今後、あいさつを通して皆が知り合いになっていければいい。」との感想がありました。

今後もあいさつ運動に引き続き、企業への見学等の地域連携活動に取り組んでいく予定です。



山梨県立産業技術短期大学校 小中学生向け出張授業について

産業技術短期大学校は、「ものづくりとホスピタリティ」を教育理念として、機械・電子産業、情報通信業等を支える人材や観光旅行業を担う人材の育成に向けた様々な授業を行っています。

こうした授業を当校教職員が小中学校に出向き実施することにより、「ものづくり」の仕組みや面白さを伝え、小中学生のキャリア教育に役立てていただきたいと考えています。

ご提供できる出張授業等のテーマ例は、次のとおりですが、この他にも御要望に応じて、いろいろ検討させていただきます。



平成30年度 小中学生向け出張授業一覧

教科等	内容	可能日
理科(機械)	機械の部品のつくりかた【小学校高学年向き】(プロジェクタ、スクリーン等が必要)	連絡後調整
理科(実験)	温度を測る。(熱伝対を使った測定)【小学5・6年～中学生向き】	連絡後調整
理科(実験)	金属をくっつける【小学校高学年向き】(プロジェクタ、スクリーン等が必要)	連絡後調整
理科(実験)	3Dプリンターってなに？(3Dプリンターの仕組み説明と、デモンストレーション)【小学校高学年・中学生向き】(プロジェクタ、スクリーン等が必要)	連絡後調整
理科(電気)	太陽光発電でLEDを光らせてみよう【小学校高学年向き】	連絡後調整
理科(電気)	電気をためるコンデンサーについて実験します♪【小学校高学年向き】	連絡後調整

平成30年度 小学生向け出張ものづくり体験塾一覧

種目名	内 容	定員
工作	紙飛行機	10～20名程度
工作	CDコマ	10～20名程度
工作	ブーメランの製作	10～30名程度
工作	ペットボトルけん玉	10～20名程度
金属工作	金属の鏡面仕上げ	10～20名程度
電子工作	はんだづけで電子工作しよう	5～10名程度

【お問い合わせ先】

山梨県立産業技術短期大学校 都留キャンパス 教務学生課

Tel : 0554-43-8911 Fax : 0554-43-8919

〒402-0053 都留市上谷5-7-35

【 カラー版は、富士・東部教育事務所のHP からご覧いただけます。

URL : <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ft/index.html> 】

地域の皆様のご支援ご協力を得ながら、実りある実践となるよう努めて参ります。各事業についてご意見ご要望がありましたら、地域教育支援スタッフまでご連絡ください。

※連絡先 富士・東部教育事務所 地域教育支援スタッフ 0554-45-7841